

教育機関・民間団体が連携した少年の規範意識向上に向けた取り組みについて

趣旨（社会背景）

近年、SNS 利用の低年齢化が進み、オンライン上でのトラブルが増加しています。

こうした状況から、子ども達がインターネットを安全に利用するためには、早期からの啓発が重要となっています。

岡山県警察では、児童・生徒の非行防止およびインターネット上のトラブル防止を目的として、関係機関・民間団体と連携し、学校現場における啓発活動を推進しています。

取り組み内容

岡山県警察では、教育支援を行う民間団体および社会課題解決に取り組む企業と連携し、学校現場で活用できる非行防止およびネットモラル教室の教材開発に取り組んでいます。

本教材は、児童・生徒が自ら考えるワーク形式で構成されており、主体的な学びを通じてインターネットリスクへの意識を高める内容となっています。



▼岡山市内の全小中学校で利用可能な学習用プラットフォームとして、株式会社ベネッセコーポレーション提供の「ミライシード<企業団体コラボコンテンツ>」において教材を共同開発しました。

<https://x.gd/dCgHo>

今後も、こうした民間企業との連携による教材開発および啓発活動を継続的に実施してまいります。

今後の展開

岡山県警察では、子ども達が主体的に考える機会を通じて、トラブルを未然に防ぐ意識の醸成を図りたいと考えています。

引き続き関係機関と連携し、地域全体で子ども達を守る取り組みを進め、デジタル社会においても安心して成長できる環境づくりを目指してまいります。